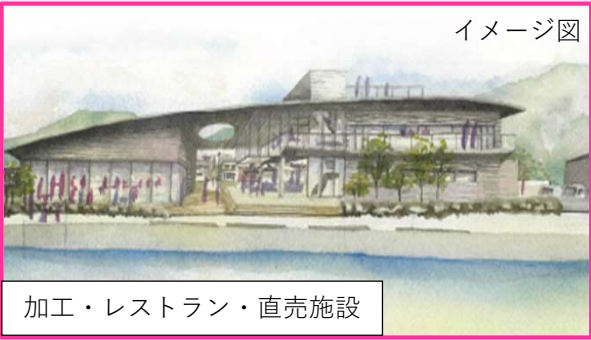


概要

○実施主体：鳥羽磯部漁業協同組合
○鳥羽市は、豊かな漁場で漁獲・生産される水産物と、海をテーマにした観光施設や新鮮な水産物を求め訪れる多くの観光客により、漁業と観光を主産業としたまちである。しかし、近年、漁業においては、地球温暖化や黒潮大蛇行等の環境の変化の影響を受け、沿岸漁業や養殖業の水揚げが減少するなど、地域全体の魅力低下が心配されている。
そのため、漁協が主体となって関係機関との連携のもと、漁業の在り方を再検討を行うとともに、まず、小浜漁港を中心としたエリアで、水産物加工施設・直営レストラン・直売所等の整備や、鳥羽の海などを活用した、交流・学習・体験メニューの充実を図るなど、各種の事業の展開により、「海」および「漁業」を地域資源と位置づけ活用し、インバウンド需要を含めた観光客等と呼び込むことで地域経済の良循環を目指す。



海業の取組概要



効果

- ・漁業者の漁業収入以外での収入確保に繋げ、所得の向上を図る
- ・漁協の収益構造および漁業のパラダイムシフトを目指す
- ・漁港を中心とした、当地域への来訪者数（インバウンドを含む）の増加や新たな雇用創出を図る。
- ・複合的なアプローチによる地域の活性化を目指す。

協力体制

- ・鳥羽磯部漁業協同組合
- ・鳥羽市
- ・三重県伊勢農林水産事務所
- ・鳥羽市観光協会
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・海島遊民くらぶ（有限会社オズ）他

スケジュール

- | | |
|------|--------------|
| 令和6年 | プロジェクトチーム立上げ |
| 令和7年 | 加工施設、直売所等整備 |